

1. 本調査研究の位置づけ

本業務においては、図書館の「将来の在り方」について「持続可能な図書館サービスを見据えた図書館運営」の手法について、市民アンケートを実施し、その結果及び札幌市が行った図書館に関する各調査の結果を分析することにより、身近な学びの場の機能を充実するという観点から市民ニーズを把握すると共に、専門的知見や他都市事例等も踏まえ、札幌市の図書館の在り方について提案を行う。

【図書館のあり方に対するアンケート調査】

札幌市民3,000人を調査対象として、図書館の将来の在り方についてアンケートを実施し、身近な学びの場の機能を充実するという観点から市民ニーズを把握する。(回答:844人)
 Point 調査票設計(質問内容、集計方法)
 図書館の役割を再整理するために、札幌市民の特性(どの地域でどのような人にどのような需要があり潜在力があるのか)を分析できるよう、限られた質問で必要な情報が得られる効率的な調査票設計を実施。(各地区図書館における地域ニーズの把握)
 ※2月2日:アンケート調査報告書提出 2月9日:報告説明

【将来も持続可能な図書館サービスを見据えた図書館運営の調査研究・分析】

実施する調査と分析・考察・提案
 Point 本調査研究・分析においてアンケート調査の他に二つの調査を実施
 調査1:参考事例調査 参考となる取り組みを行っている他都市事例を調査し、対象は海外にも目を向ける。
 資料調査、ヒアリング調査、視察調査を実施
 調査2:地域特性調査 札幌市の各地区図書館および関連施設・市民団体の配置と活動内容を調査し、潜在力を把握する。
 資料・公開データ調査、ヒアリング調査、実地調査を実施
 アンケート調査と上記二つの調査の結果を分析し、札幌市が行った図書館に関する各調査の結果も踏まえ、「札幌市の図書館の目指すべき方向性」について考察を行い、提案する。

2. 札幌市の図書館の現状

図書館サービス網と本調査研究の対象

地区館等の訪問調査より

考察

水準の確認

3-1 地域ニーズ調査

令和4年10月6日～8日
 調査スタッフ:4名
 各地区図書館を含む16施設の実見調査及びヒアリング調査を実施。
 関係者よりの地域特性・利用者属性等のイメージ及び地域連携活動実績のヒアリング。
 札幌市にて実施された図書館に関する各調査の結果分析を含め考察を継続中。

考察

3-2 市民アンケート調査

調査概要・分析結果

図書館を使わない人が約5割
 基本的サービスは重要
 学びのニーズは高い⇒集中できる個人席
 居場所のニーズは高い⇒カフェの要望
 ICTツールの普及とwifiニーズ
 ウェルネスの重要性
 スポーツは学びの柱の一つ

考察

3-3 他の自治体の参考図書館調査

近年の図書館サービスの動向

参考事例の調査
 須賀川市・大和市
 安城市・豊橋市・太田市

今後の方向性の考察

ソフト 連携 多様な学び
 可変性 地域性・個性化
 ハード 複合・融合・フレキシブル
 安全・居場所・活動拠点

